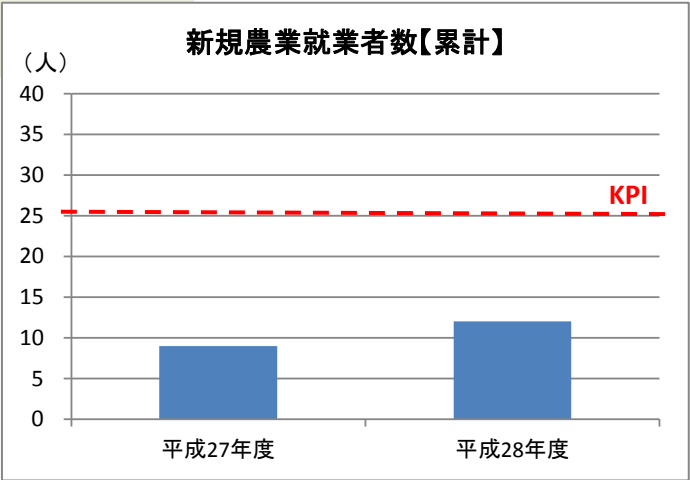


基本目標Ⅰ しごと

地域資源を活かして育てるまちづくり

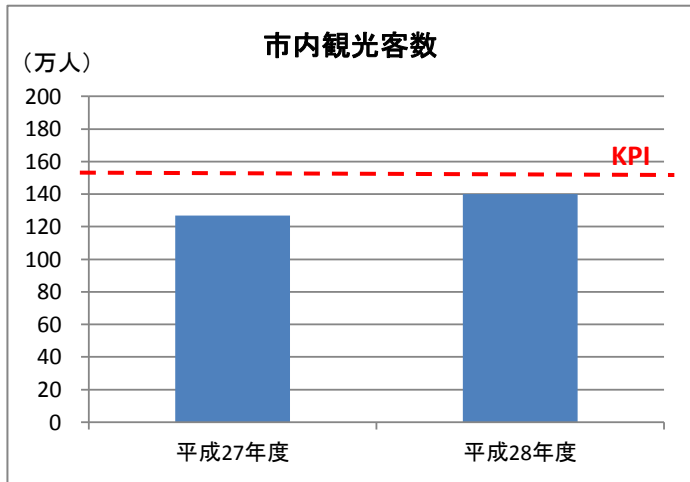
資料3

数値目標	新規農業就業者数【累計】	
基準値 ※2014(H26)年度	8 人	
	平成27年度	平成28年度
目標値	25 人	25 人
実績値	9 人	12 人
目標に対する達成率	36.0%	48.0%
評価	C	B



PDCA検証(今後の対策など)
今年度から、制度が厳しくなり、中間で評価が入って、5年後に所得250万円に達していないと返還命令がくるという罰則が強化された。新規就農・農業振興の観点からも、増加を図っていきたいが、国庫事業ということもあり、審査においても、慎重にならざるえない状況である。今年度は女性2名の方が新規農業の申請があったが、ハードルは高くなってくると想定される。
今後は、農業法人等で修業された方で、新たに新規就農されるような方が対象となってくる。よって、農業法人等とのより一層の連携を図り、農業で生計を立てることのできる方に対する補助を目指したい。

数値目標	市内観光客数	
基準値 ※2014(H26)年度	122.0 万人	
	平成27年度	平成28年度
目標値	150.0 万人	150.0 万人
実績値	127.0 万人	140.0 万人
目標に対する達成率	84.7%	93.3%
評価	B	B



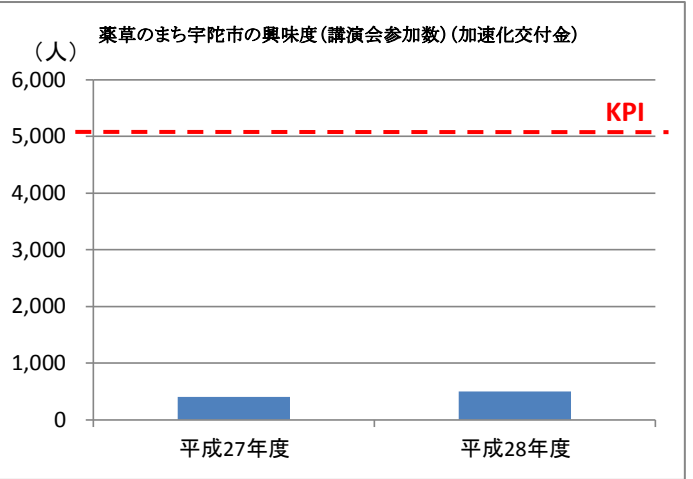
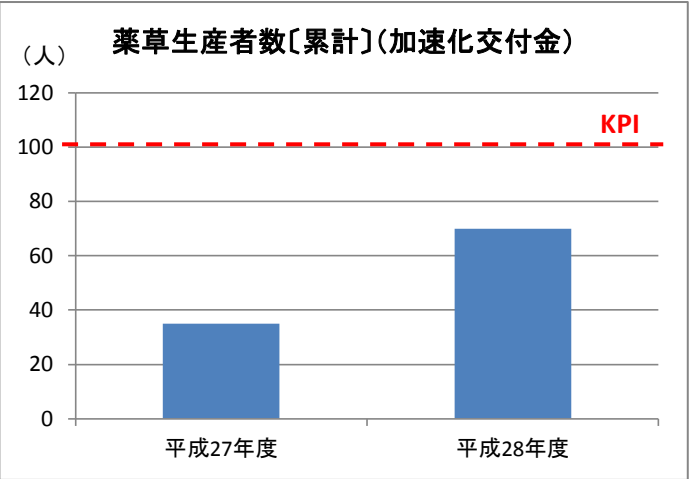
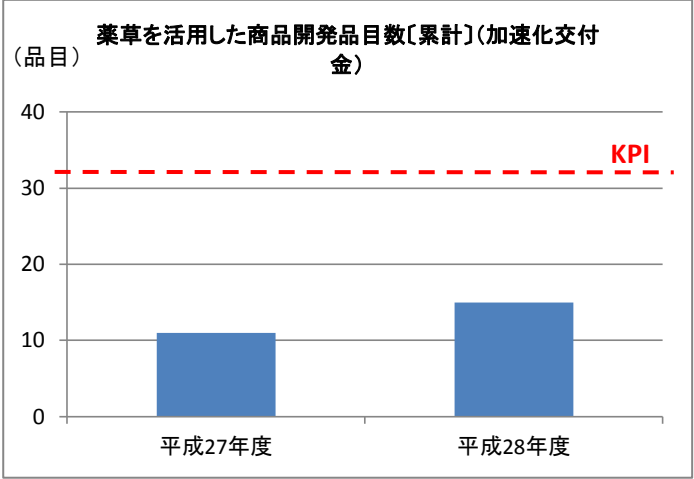
PDCA検証(今後の対策など)
市内観光客数が増加しているのは、スポーツツーリズムの積極的な施策展開やアニマルパークの観光客数等が増加したことによるもの。特に、還暦野球やウォーキング・自転車等による観光客の増加が図れている。
今後については、滞在型の観光として、平成29年度より本格的に指導する「広域観光DMO事業」をはじめとするインバウンド観光を視野に入れた観光事業の展開により一層注力していきたい。また、宇陀市だけではなく、広域的な観光連携を進めていく。

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている

1	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅰ しごと	政策1. 基幹産業である農林業の再生・活性化	1400年の伝統を受け継ぐ『薬草のまち宇陀』の全国発信
事業	「薬草プロジェクト事業」	

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
薬草を活用した商品開発品目数〔累計〕(加速化交付金)		0 品目
	平成27年度	平成28年度
目標値	30 品目	30 品目
実績値	11 品目	15 品目
目標に対する達成率	36.7%	50.0%
評価	B	B
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
薬草生産者数〔累計〕(加速化交付金)		2 人
	平成27年度	平成28年度
目標値	100 人	100 人
実績値	35 人	70 人
目標に対する達成率	35.0%	70.0%
評価	B	B
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
薬草のまち宇陀市の興味度（講演会参加数）(加速化交付金)		300 人
	平成27年度	平成28年度
目標値	5,000 人	5,000 人
実績値	400 人	500 人
目標に対する達成率	8.0%	10.0%
評価		C

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている



■PDCA検証(今後の対策など)

薬草プロジェクト事業については、平成28年度に「地方創生加速化交付金」を活用する。

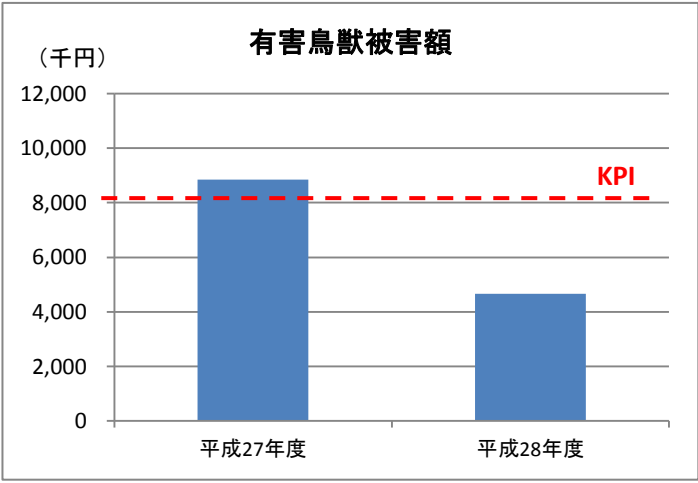
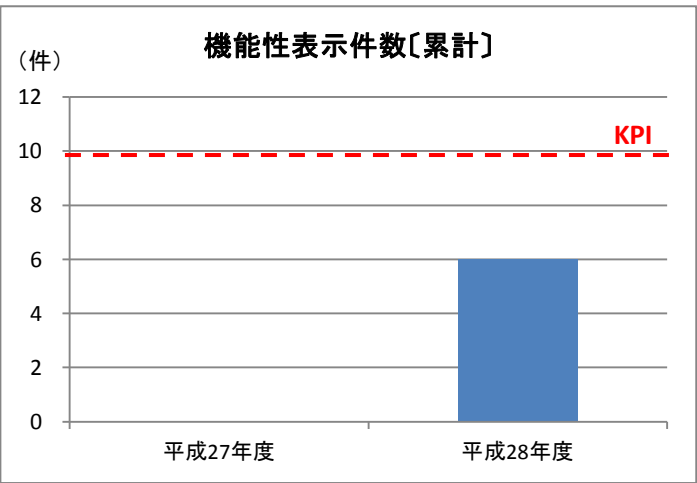
新商品開発に向けては、『入浴剤・トウキ飴・トウキフリカケ・トウキカレー』に取り組み、徐々に商品数も増えてきている。平成29年度より、新たに薬草メニュー商品開発補助メニューを予算化し、5事業者がメニュー開発を進めており、すべて消化している。

生産者数の増加に向けては、地域おこし協力隊が活動しており、栽培指導や販路拡大の一役を担える人材として育成している。大和トウキだけでなく新たな薬草を栽培することで、更なる薬草生産者を開拓する。生産者を増やすためには、儲かる仕組みが必要不可欠であり、大和トウキの葉(乾燥葉)を活用できるよう仕組みを構築していく。

薬草のまち興味度としては、薬草のまちとしてPRを図るにあたって、宇陀産フェスタで薬草シンポジウムを開催し、認知度向上を目指していたが、講師である村上教授が体調を崩され、ビデオ上映となった。平成29年度では、薬草文化祭として国民文化祭の一環として開催し、より一層の参加者増を目指す。ただし、全国薬草シンポジウムを開催することで、大きな目標を設定し、講演会参加者数の向上を図っていくつもりであったが、開催中止を余儀なくされたため、今後の対策が必要である。

平成29年度においても、「地方創生推進交付金」を活用しており、平成31年度まで継続して薬草プロジェクト事業を推進していくことになる。

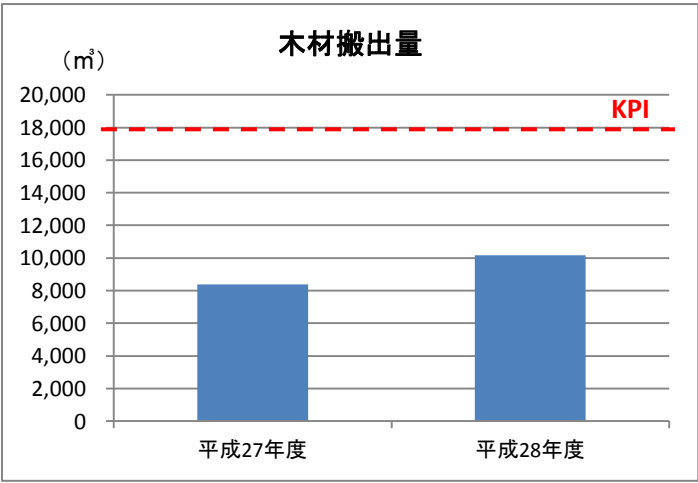
2		総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅰ しごと		政策1. 基幹産業である農林業の再生・活性化	高原野菜等のブランド化
事業		「特産品等認定開発補助事業」「機能性表示支援事業」「有害鳥獣対策の強化」	
重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度	
機能性表示件数〔累計〕		0 件	
	平成27年度	平成28年度	
目標値	10 件	10 件	
実績値	0 件	6 件	
目標に対する達成率	0.0%	60.0%	
評価	B	B	
重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度	
有害鳥獣被害額		11,600 千円	
	平成27年度	平成28年度	
目標値	8,120 千円	8,120 千円	
実績値	8,848 千円	4,658 千円	
目標に対する達成率	91.8%	174.3%	
評価	C	A	



■PDCA検証（今後の対策など）
 機能性表示については、「枝豆・黒豆・金ゴボウ・大和トウキ等」を取得し、栄養成分は把握できている。例えば、大和トウキに関しては、ビタミンEが多く含まれてるので、止血作用がある等を表示し販売していくことができる。黒豆・枝豆についても、JAとも連携し、他の商品との差別化を図っていく。機能性表示は、費用対効果も考え、地方創生推進交付金等の交付金をうまく活用していきたい。
 平成28年度は、鹿・イノシシ合わせて1006頭（平成27年度比約300増）確保し、市内で防護柵を張り巡らせたことにより効果があったと考える。農業共済の損害額であるため、個人の泣き寝入りの部分もある。宇陀市の農業全般の問題にもなってくるが、耕作放棄地が増えており、被害額が減っているという観点もある。

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている

3		総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅰ しごと		政策1. 基幹産業である農林業の再生・活性化	宇陀産材の普及及び森林の保全
事業		「木材出荷促進事業」「宇陀市産木材利用促進事業」	
重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度	
木材搬出量		8,950 m³	
	平成27年度	平成28年度	
目標値	17,150 m³	17,150 m³	
実績値	8,395 m³	10,180 m³	
目標に対する達成率	49.0%	59.4%	
評価	C	C	



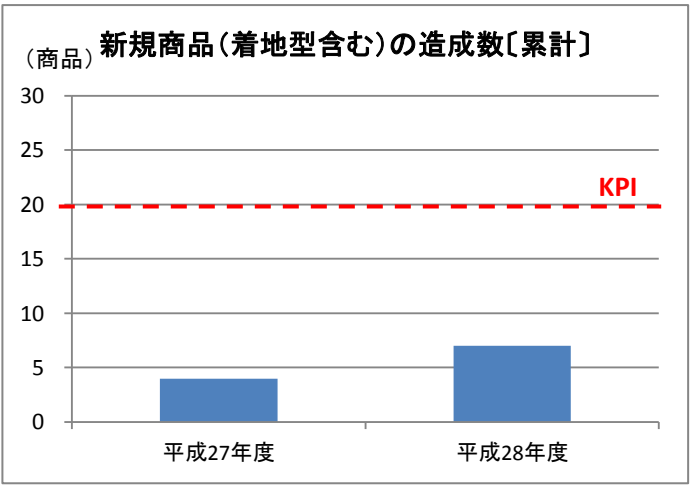
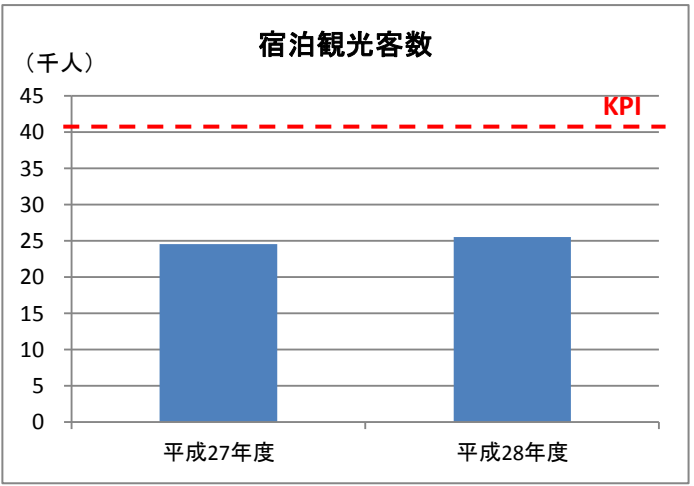
■PDCA検証（今後の対策など）
 個人が搬出したものとしては把握が困難である。よって、公共で搬出するものや補助事業として活用した搬出量を、積み上げた数値として計上。
 木材の搬出量については、単純に増えれば良いというものではなく、使用用途も含めて検討が必要である。

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている

総合戦略効果検証シート

4		
基本目標Ⅰ しごと	政策2. 地域資源を活かした観光戦略	四季折々の自然をはじめとする宇陀の地域資源で観光地の魅力を創造
事業	「宿泊事業者誘致事業」「観光誘致促進事業」「まちなか食べ歩きチケット造成事業」	

重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度
宿泊観光客数		25,000 人
	平成27年度	平成28年度
目標値	40,000 人	40,000 人
実績値	24,525 人	25,497 人
目標に対する達成率	61.3%	63.7%
評価	C	B
重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度
新規商品(着地型含む)の造成数〔累計〕		1 商品
	平成27年度	平成28年度
目標値	20 商品	20 商品
実績値	4 商品	7 商品
目標に対する達成率	20.0%	35.0%
評価	B	B



■PDCA検証(今後の対策など)

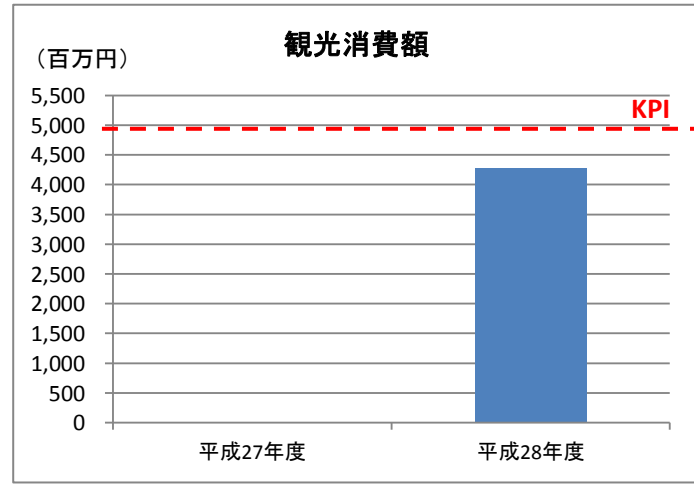
美榛苑が21,124人・椿寿荘4,373人の内訳。宿泊施設については、B&Bにしみね・らびゅた・室生寺周辺旅館や今後増加を見込める農家民宿等ができており、インバウンド観光も含めて増えている。スポーツツーリズムでのインカレの大会の誘致や、滞在型観光による交流人口増加に伴う宿泊客の増加を図っていききたい。宿泊の稼働率も閑散期があることから、広域観光で周遊してもらう仕組みも必要となってくる。

新規商品としては、新たに、宇陀市が事業として絡んだものの数値。記紀万葉ウォークや各種団体によるイベント(例:奈良県ウォーキング協会主催のもの)で、新たな事業に取り組んでいる。広域観光DMO事業による商品造成に繋げるとともに、大和高原東吉野観光振興協議会とも、協働して取り組んでいくことで、新規商品の造成に努めていく。また、今年度、先駆けとして室生寺門前をメインとして、まちなか食べ歩きチケット造成の取組みを進める。

※評価 A:既達成、B:順調、C:やや遅れている、D:遅れている

5		
基本目標Ⅰ しごと	政策2. 地域資源を活かした観光戦略	健幸都市宇陀ならではのスポーツツーリズムの推進
事業	「還暦野球推進事業」「自転車のまちづくり事業」「大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト」	

重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2015(H27)年度
観光消費額		3,812 百万円
	平成27年度	平成28年度
目標値		4,970 百万円
実績値		4,278 百万円
目標に対する達成率		86.1%
評価		B



■PDCA検証(今後の対策など)

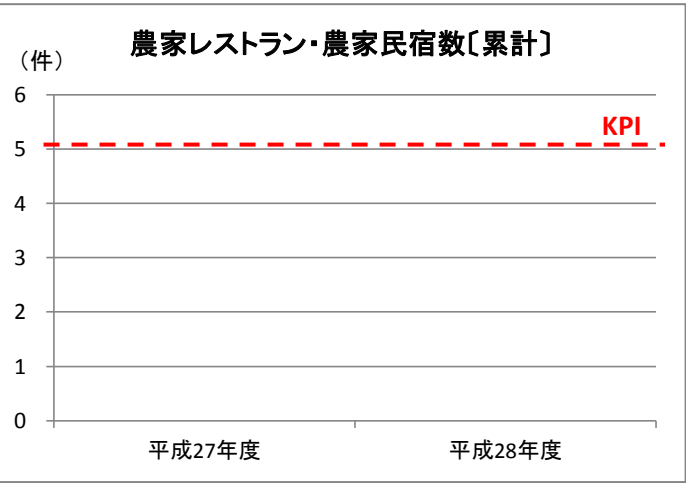
スポーツツーリズムに注力し、観光客数が増加してきている。登山客や自転車・ウォーキング等で訪れてくれる方が増えており、還暦野球推進事業も定着しつつあると感じている。

日帰り2,500円・宿泊33,000円と設定し、算出したものである。市内観光客数の増加に伴い、観光消費額も増加している。

※評価 A:既達成、B:順調、C:やや遅れている、D:遅れている

6	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅰ しごと	政策2. 地域資源を活かした観光戦略	宇陀のおもてなし、農家レストラン、農家民宿等の支援
事業	「おもてなしのまちづくり～農家レストラン・農家民宿支援事業～」	

重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度
農家レストラン・農家民宿数〔累計〕		0 件
	平成27年度	平成28年度
目標値	5 件	5 件
実績値	0 件	0 件
目標に対する達成率	0.0%	0.0%
評価	C	C



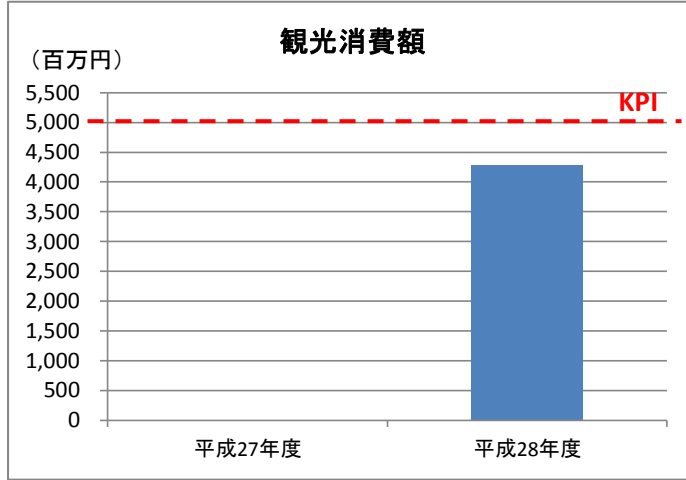
■PDCA検証(今後の対策など)

平成28年度に、空き家等を改修し、農家民宿や店舗として活用するにあたり、支援メニューを策定した。
平成29年度で大宇陀地域で農家民宿(奈の音)を開業され、支援メニューを活用している。ロート製薬(株)との連携事業であるアントレプレナー育成循環事業での起業者が活用することや、創業支援メニューとの連携も密にしていき、積極的な空き店舗の活用推進を図る。

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている

7	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅰ しごと	政策2. 地域資源を活かした観光戦略	色彩豊かな宇陀づくり
事業	「かえで植樹推進事業」「宇陀四季彩推進事業」	

重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2015(H27)年度
観光消費額		3,812 百万円
	平成27年度	平成28年度
目標値		4,970 百万円
実績値		4,278 百万円
目標に対する達成率		86.1%
評価		B



■PDCA検証(今後の対策など)

観光資源と自然環境を活かし、花の植栽や保護により将来を見据えた彩り美しい宇陀の観光地を形成していく。ライトアップイベント等の資源と環境を活かした室生寺でのイベント開催等を展開する。
また、奈良カエデの郷「ひらら」を中心としたかえでの植樹推進として、各イベントや事業の開催時に各種カエデの苗を参加者、施設利用者に配布し、色彩豊かな宇陀市を目指す。

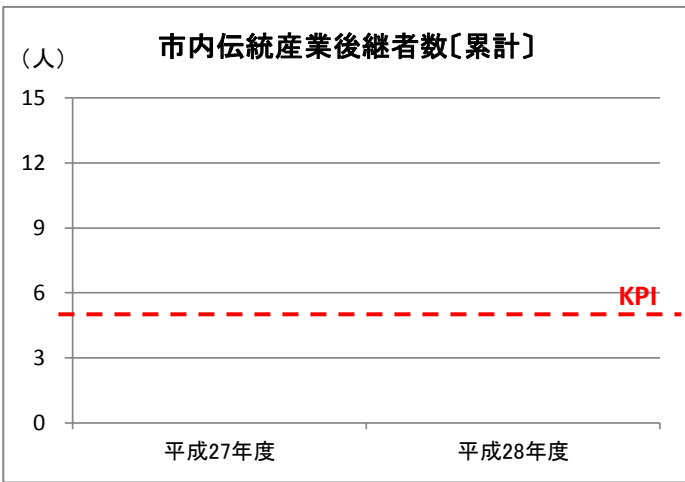
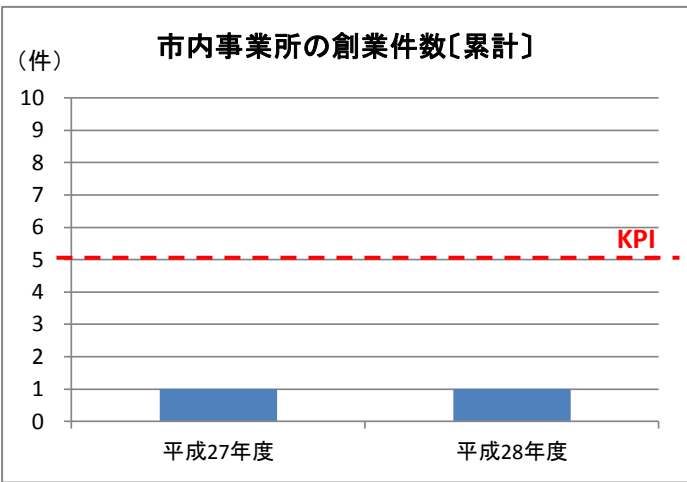
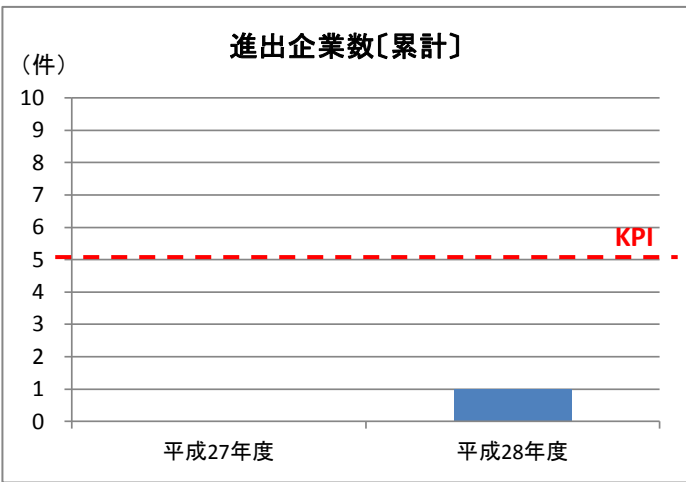
総合的な地域資源を活用した観光戦略により、観光客数や観光消費額の増加に努めていく。

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている

8	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅰ しごと	政策3. 地場産業等への支援による仕事づくり	未来に継承したい宇陀の地場産業等への支援
事業	「企業立地推進事業」「うだチャレンジアシスト補助金事業」「中小企業等施設改修・設備投資補助事業」「宇陀市伝統技術後継者育成事業」「商品企業支援事業」「創業・既存企業等ネットワーク事業」「アントレプレナー（企業家）育成循環事業」	

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
進出企業数〔累計〕		0 件
	平成27年度	平成28年度
目標値	5 件	5 件
実績値	0 件	1 件
目標に対する達成率	0.0%	20.0%
評価	C	C
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
市内事業所の創業件数〔累計〕		1 件
	平成27年度	平成28年度
目標値	5 件	5 件
実績値	1 件	1 件
目標に対する達成率	20.0%	20.0%
評価	C	C
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
市内伝統産業後継者数〔累計〕		0 人
	平成27年度	平成28年度
目標値	5 人	5 人
実績値	0 人	0 人
目標に対する達成率	0.0%	0.0%
評価	C	C

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている



■PDCA検証（今後の対策など）

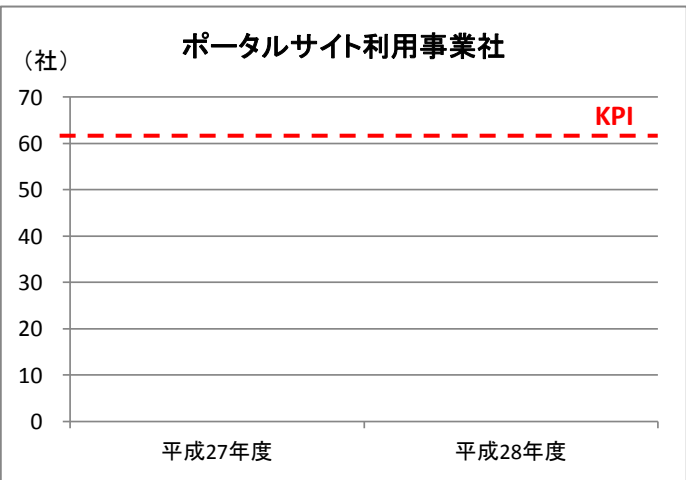
進出企業数については、市の誘致等により進出に繋がった数として把握し、市内事業所の創業件数については、市の創業支援制度を活用して創業に至った件数として把握している。民間として企業立地は進んできており、企業間同志でのやり取りで増加してきているように感じている。平成29年度以降も、宿泊事業者の誘致も行うことから、宇陀市としても積極的な企業誘致のPRを進める。

市内伝統産業後継者数については、毛皮革産業・藍染について、平成28年度から29年度にかけて直接訪問をはじめとするニーズ調査を行っており、今後全国募集をかけたいと考えている。後継者の問題だけでなく新たな販路の問題等、多くを抱えていると感じている。スキームをはじめ、興味のある方は、多数おられると感じているが、応募方法等の検討が必要である。

9	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅰ しごと	政策3. 地場産業等への支援による仕事づくり	ICT等を活用し、宇陀の産業情報の発信や特産品等をPR販売
事業	「ICTを活用した中小企業・個人店舗等情報提供事業」「特産品・名産品PR事業」	

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
ポータルサイト利用事業社		30 社
	平成27年度	平成28年度
目標値	60 社	60 社
実績値	0 社	0 社
目標に対する達成率	0.0%	0.0%
評価	C	D

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている

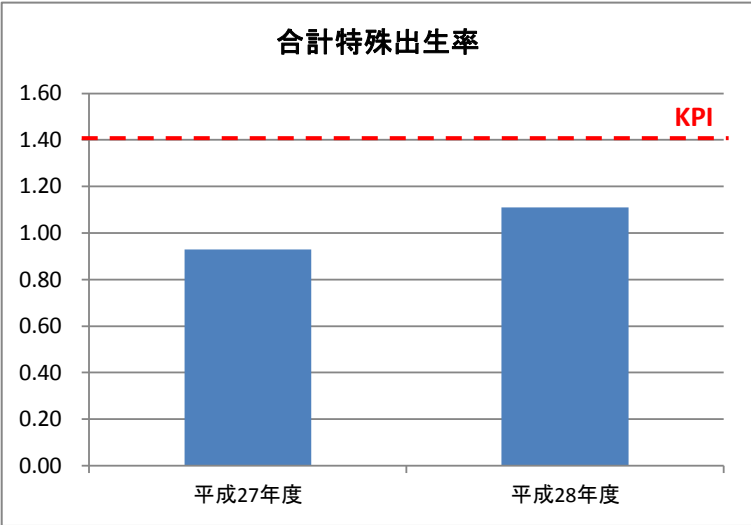


■PDCA検証（今後の対策など）

ポータルサイトの運用方法も含め、今後方法を模索していく。

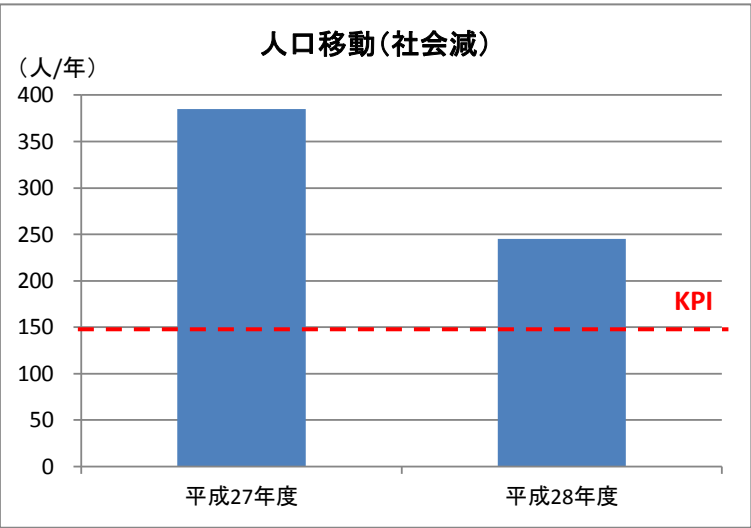
基本目標Ⅱひと暮らしやすく交流が盛んなまちづくり

数値目標	合計特殊出生率	
基準値 ※2014(H26)年度	0.90	
	平成27年度	平成28年度
目標値	1.40	1.40
実績値	0.93	1.11
目標に対する達成率	66.4%	79.3%
評価	D	C



PDCA検証(今後の対策など)			
合計特殊出生率については、改善の傾向となっている。ただし、奈良県・全国平均に比べると厳しい数値となっている。			
年齢別	対象女子人数	出生数	年齢別出生率
15歳～19歳	636	4	0.03
20歳～24歳	630	16	0.13
25歳～29歳	657	33	0.25
30歳～34歳	661	59	0.45
35歳～39歳	727	32	0.22
40歳～44歳	928	7	0.04
45歳～49歳	820	0	0
合計	5,059	151	1.11

数値目標	人口移動(社会減)	
基準値 ※2014(H26)年度	300 人/年	
	平成27年度	平成28年度
目標値	150 人/年	150 人/年
実績値	385 人/年	245 人/年
目標に対する達成率	39.0%	61.2%
評価	D	C



PDCA検証(今後の対策など)		
社会減については、平成25～27年度平均と比較しても、改善傾向にある。ただし、目標値に比べると厳しい現状にある。		
	H28	平均 (H25-27)
市外からの転入	686	675
市内からの転出	931	1,018
合計	▲ 245	▲ 343

※評価 A:既達成、B:順調、C:やや遅れている、D:遅れている

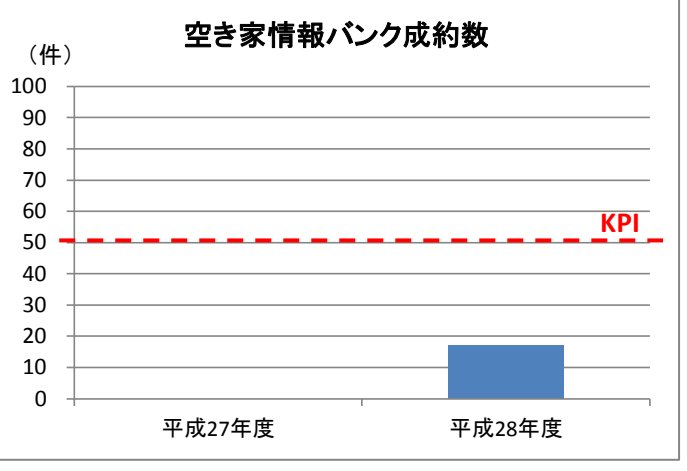
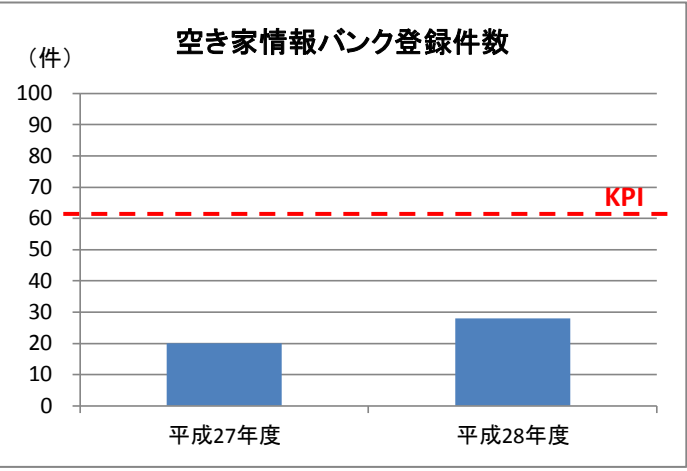
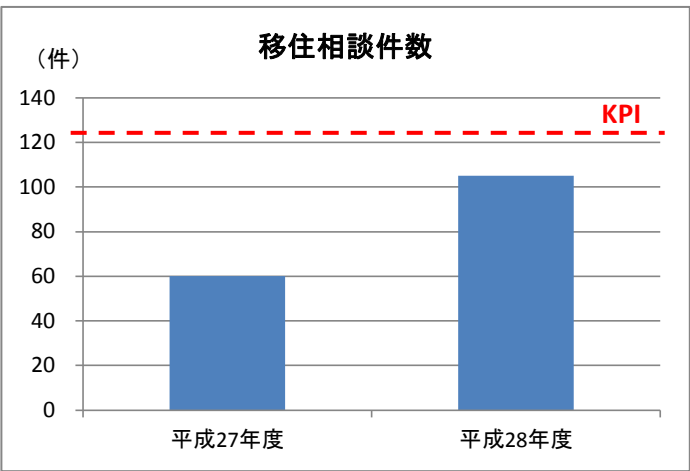
1	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅱ　ひと	政策1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化	働きながら住み続けられるまちの推進
事業	「空き家・空き店舗等の活用事業」「女性のための就業支援事業」「空き家情報バンク事業」「定住促進奨励金交付金」「榛原駅周辺若者定住プロジェクト」「子育て世代定住支援事業」「宇陀の魅力発信事業」	

重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度
移住相談件数		60 件
	平成27年度	平成28年度
目標値	120 件	120 件
実績値	60 件	105 件
目標に対する達成率	50.0%	87.5%
評価	B	B

重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度
空き家情報バンク登録件数		20 件
	平成27年度	平成28年度
目標値	60 件	60 件
実績値	20 件	28 件
目標に対する達成率	33.3%	46.7%
評価	B	B

重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2015(H27)年度
空き家情報バンク成約数		7 件
	平成27年度	平成28年度
目標値		50 件
実績値		17 件
目標に対する達成率		34.0%
評価		C

※評価　A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている



■PDCA検証(今後の対策など)

平成28年度に、ワンストップのパンフレットの作成を実施した。

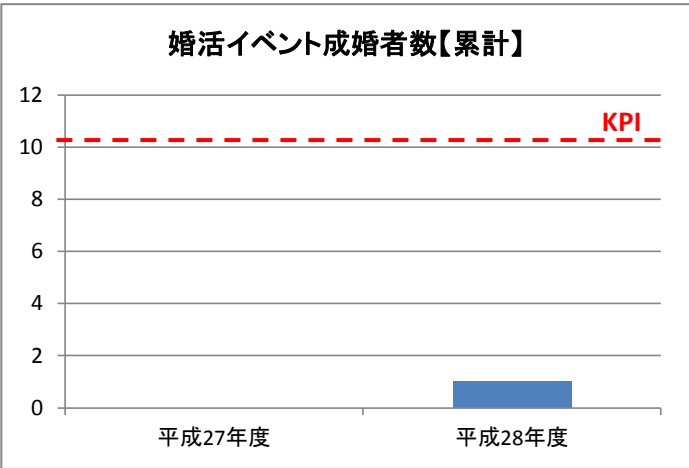
空き家情報バンクについては、市内にある空き家等の有効活用を通して、市外からの定住促進を図るため、空き家の情報発信及び空き家活用を推進している。県下でも珍しい取組であり、県外からの視察もある先進的な取組である。市・所有者・不動産会社の3者によるもので、空き家の活用による地域活力や人口増加の受け皿を目指す。平成29年度には、環境対策課による空き家調査も予定されているので、連携し、空き家情報バンクの登録に促す等の対策を講じる。

人口減少の歯止めと定住化及び活力あるまちづくりを推進するため、市内に住宅を取得したものに子育て世代加算分も合わせて、定住促進奨励金を渡す等をしていることから、KPI数値として、計上しても良いのではないかと考えている。

2	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅱ　ひと	政策2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実	婚活支援イベント等の充実
事業	「同窓会開催補助事業（アタック25）」「結婚支援事業～宇陀カップリングパーティ～」	

重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2015(H27)年度
婚活イベント成婚者数【累計】		1組
	平成27年度	平成28年度
目標値		10組
実績値		1組
目標に対する達成率		10.0%
評価		C

※評価　A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている



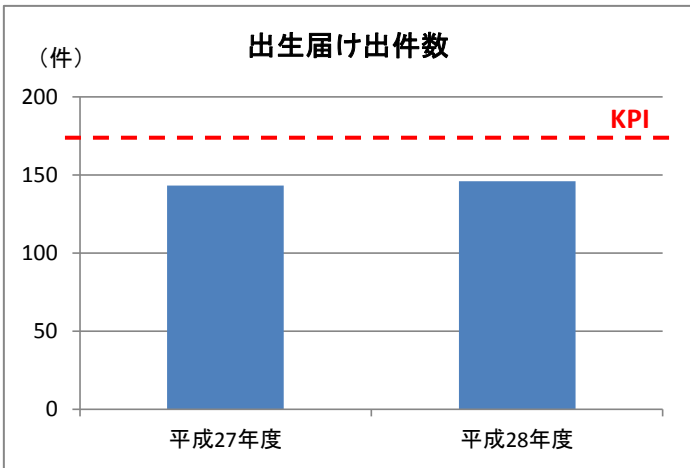
■PDCA検証(今後の対策など)

平成28年度の実績として、参加者数54名でカップル成立9組であった。成婚者に対しては、5万円の祝い金を渡している。自治体がどこまで支援していくのかが検討材料である。移住定住促進の観点から、同窓会開催や結婚支援を自治体として担っている。奈良新聞やメディアでも奥大和地域を中心として結婚支援としての報道機関も取り上げている。奈良結婚応援団として県下あがての取り組みも考えられている。宇陀市内での成婚者数のアップから定住促進・合計特殊出生率の向上等に繋げていきたい。まちづくり協議会の自主事業としての婚活イベント等も精力的に行っていく。

3	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅱ　ひと	政策2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実	誰もが子どもを産みやすい環境の充実
事業	「出産祝い金支給事業」「一般不妊治療助成事業」	

重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度
出生届け出件数		144件
	平成27年度	平成28年度
目標値	175件	175件
実績値	143件	146件
目標に対する達成率	81.7%	83.4%
評価	C	C

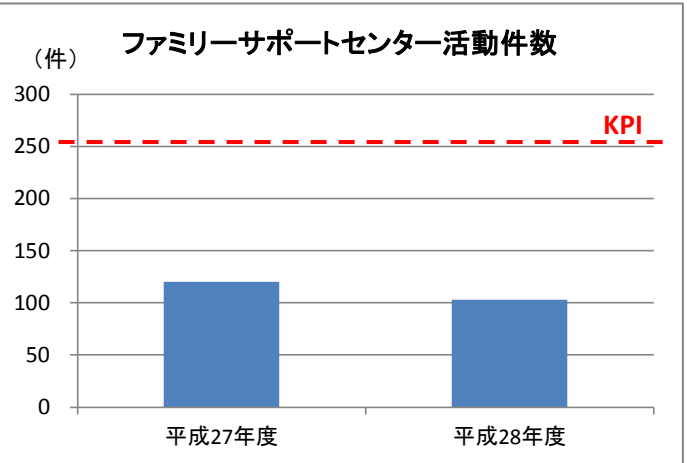
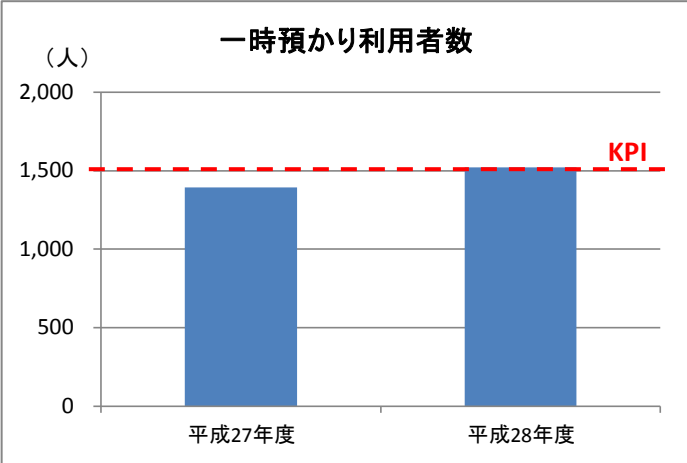
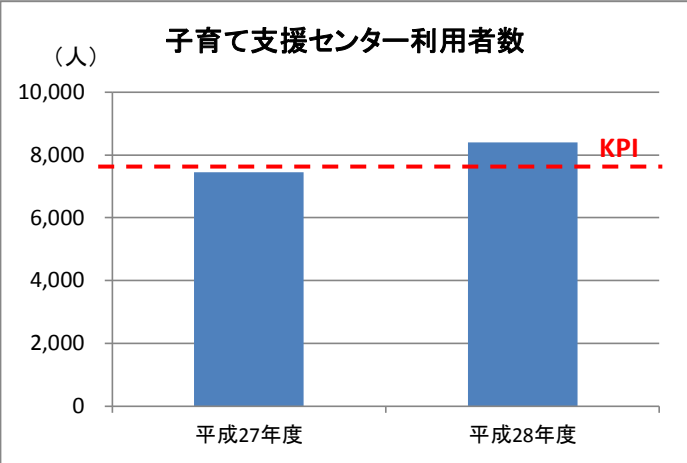
※評価　A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている



■PDCA検証(今後の対策など)

出産祝い金は、生後すぐにある予防接種の説明会のタイミングで支給している。出生数の向上に向けては、トータル的なコーディネートが必要となってくるが、子育て支援としては、便利な田舎宇陀レシピ等として、生まれる前から子育てまでの支援の充実を図っていく。

4	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅱ ひと	政策2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実	子育て支援の充実
事業	「便利な田舎～宇陀のレシピ事業～」 「三世代ファミリー同居・近居応援事業」 「ファミリーサポートセンター事業」 「子供に育てられる地域づくり～地域子育てサポート事業～」 「病後児保育事業」 「一時預かり事業」	
重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度
子育て支援センター利用者数		6,700 人
	平成27年度	平成28年度
目標値	7,500 人	7,500 人
実績値	7,450 人	8,397 人
目標に対する達成率	99.3%	112.0%
評価	B	A
重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度
ファミリーサポートセンター活動件数		130 人
	平成27年度	平成28年度
目標値	250 件	250 件
実績値	120 件	103 件
目標に対する達成率	48.0%	41.2%
評価	C	C
重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26)年度
一時預かり利用者数		1,350 人
	平成27年度	平成28年度
目標値	1,500 人	1,500 人
実績値	1,394 人	1,522 人
目標に対する達成率	92.9%	101.5%
評価	B	A



■PDCA検証(今後の対策など)

子育て支援センター利用者数は、平成26年度から毎年1,000人程度増加してきている。要因としては、口コミによる利用者の増加とそれに伴う子育て支援センターの認知度の向上が大きい。その背景には、支援センターを交流の場として大切にしてくださった利用者の存在はもちろんのこと、子育てを楽しめる支援を日々追求してきた職員の努力があったと推察する。

目標値が達成できたことは、子育て支援拠点という事業の必要性が実証されたことでもあるので、目標値を見直すか新たな事業展開を進めていくかが今後の課題である。

なお、登録者数の約60%が榛原地域、大宇陀地域が24%、菟田野地域が14%、室生地域が2%弱となっている。

ファミリーサポートセンター活動件数は、保護者の通院や買い物や学校行事などの際、サポート会員に子どもを預かっていただく子育てを援助しあう有償ボランティアの会員組織の活動件数。

保育所やこども園への就園者数の増加により、未就園の子どもが減少する傾向にあり派遣件数は減少している。

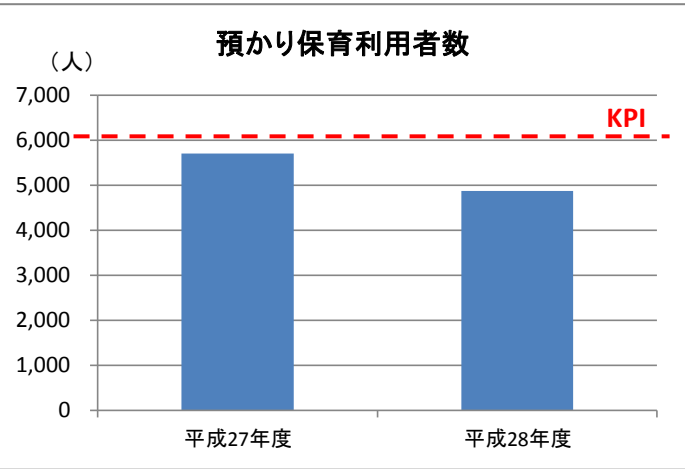
一時預かり利用者数は、保護者の就労や傷病、災害等により、家庭において育児が一時的に困難となる場合や、心理的、肉体的負担等の私的理由により一時的に保育が必要となる場合等に未就園の子どもをお預かりする事業である。

目標値の達成に伴う数値の見直しについては、保育所、こども園への就園者数の増加により未就園児が減少傾向にあることから、一時預かり利用者数の大幅な増加は見込めないため暫時据え置くものとする。

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている

5	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅱ　ひと	政策3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実	夢を育む教育環境の充実
事業	「幼児教育環境充実事業」「英語教育推進事業」「子供の夢を育てる「夢教室」事業」「学びの広場UDAプラン・学力向上推進事業」「学力学習状況調査事業」「学校・地域パートナーシップ事業」「中学校・乳幼児ふれあい体験事業」	

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2015 (H27) 年度
預かり保育利用者数		5,000 人	自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「自分の良い所」		中学生 62.3%
	平成27年度	平成28年度		平成27年度	平成28年度
目標値	6,000 人	6,000 人	目標値		67.3 %
実績値	5,703 人	4,869 人	実績値		62.6 %
目標に対する達成率	95.1%	81.2%	目標に対する達成率		93.0%
評価	B	B	評価		B
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2015 (H27) 年度	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2015 (H27) 年度
自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「自分の良い所」		小学生 75.2%	自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「将来の夢や目標」		中学生 69.1%
	平成27年度	平成28年度		平成27年度	平成28年度
目標値		80.2 %	目標値		74.1 %
実績値		67.6 %	実績値		62.2 %
目標に対する達成率		84.3%	目標に対する達成率		83.9%
評価		C	評価		C
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2015 (H27) 年度	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2015 (H27) 年度
自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「将来の夢や目標」		小学生 87.0%	自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「地域の行事参加」		中学生 50.2%
	平成27年度	平成28年度		平成27年度	平成28年度
目標値		92.0 %	目標値		55.2 %
実績値		86.7 %	実績値		45.9 %
目標に対する達成率		94.2%	目標に対する達成率		83.2%
評価		B	評価		C
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2015 (H27) 年度	■PDCA検証(今後の対策など) 幼稚園及びこども園在園の一号認定(幼稚園要件)の子どもについて、保護者の家事以外の就労・就学、保護者又は家族の傷病・出産・災害・看護・介護などにより、教育時間終了後に幼稚園及びこども園で預かり、保育する事業。 利用者数の減少理由としては、保護者の就労による保育所ニーズの増加に伴う幼稚園ニーズの減少があげられる。 一方で、厚生労働省から示された「子育て安心プラン」においては、保育の受け皿拡大の支援策として、幼稚園における2歳児の受け入れや預かり保育の推進を掲げていることから、幼稚園ニーズの減少が継続するとは言い切れない。以上のことから近年の実績値に基づき目標値を見直すことは適切ではないため、幼稚園及びこども園の一号認定(幼稚園要件)の今後の動向を見守る必要がある。 学力学習状況調査の中での、達成率を表したものであり、5%アップを目指したもの。 地域の行事参加は達成している。ただし、「自分のよい所」という自尊意識は低下している。将来の夢や目標は、「夢先生」の効果もあると考えている。小学校のカリキュラムの一環として、「自分のことを自慢する」や「自分のことをPRする」ことを目標としている部分もある。		
自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「地域の行事参加」		小学生 71.1%			
	平成27年度	平成28年度			
目標値		76.1 %			
実績値		77.1 %			
目標に対する達成率		101.3%			
評価		A			

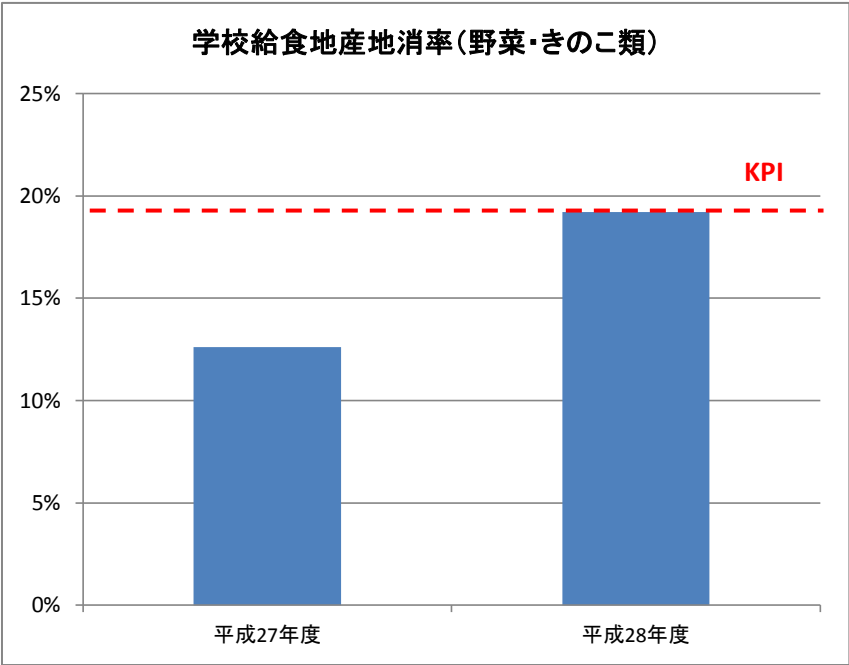


※評価　A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている

6	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅱ ひと	政策3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実	元気な子どもづくりの推進
事業	「学校給食地産地消推進事業」「うだ子ども元気づくりプロジェクト事業」「平成子供のもり公園再生プロジェクト事業」「子どもフェスタ事業」	

重要業績評価指標(KPI)		基準値
		※2014(H26)年度
学校給食地産地消率(野菜・きのこ類)		10.5%
	平成27年度	平成28年度
目標値	20.0%	20.0%
実績値	12.6%	19.2%
目標に対する達成率	63.0%	96.0%
評価	B	B

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている



■PDCA検証(今後の対策など)

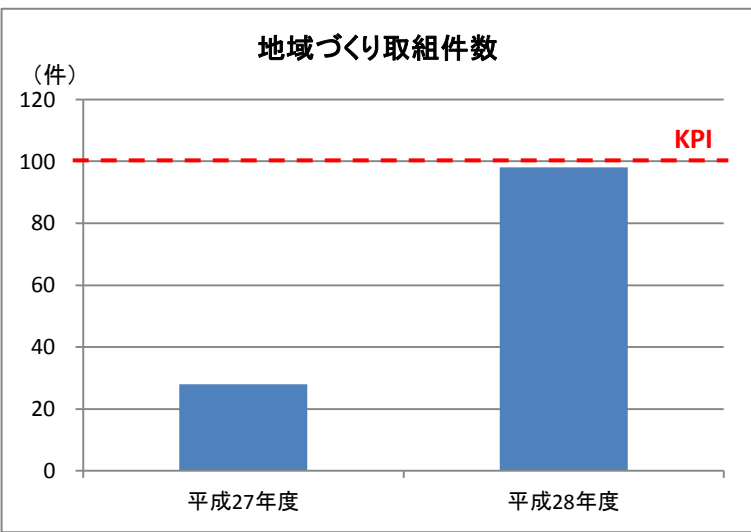
平成28年度から市単独の予算組みをして、積極的に市内産の野菜ときのを給食に使うようにしている。12月時点では23%であったが、1～3月になると市内産の野菜市内産野菜の納入は厳しい状況にある。市内産野菜の納入業者としては、「大宇陀・菟田野・榛原の直売所及びランチプロジェクト」が登録している。その中でも、「宇陀ランチプロジェクト」がまちづくり応援補助金を活用して積極的に活動いただいている。

また、今年度から、調理員や栄養士・事務職員が、直売所や農家を訪問し、情報交換やコミュニケーションを図りながら、地産地消を推進している。平成29年度は、6月・7月・9月に「宇陀やさいの日」を実施し、当日の野菜は全て市内産の野菜を使用する。また、宇陀産の肉を購入できないか、現在検討中である。

基本目標Ⅲ まち

地域が連携した安心・安全なまちづくり

数値目標	地域づくり取組件数	
基準値 ※2014(H26)年度	12 件	
	平成27年度	平成28年度
目標値	100 件	100 件
実績値	28 件	98 件
目標に対する達成率	28.0%	98.0%
評価	B	B



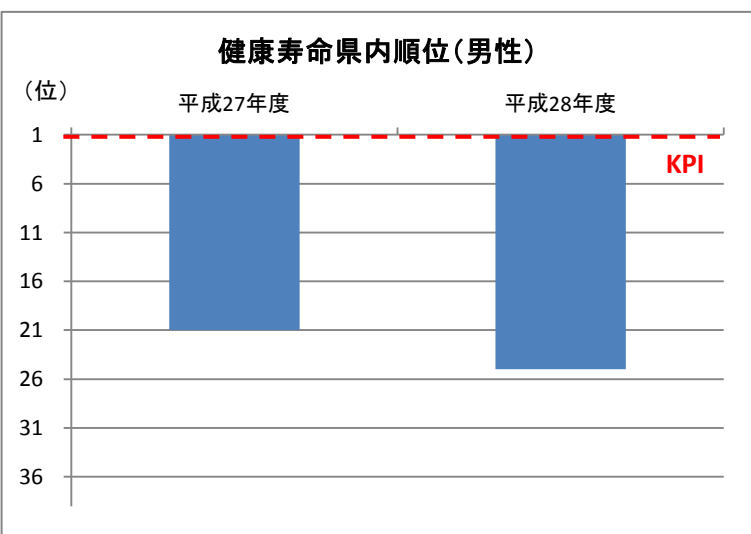
PDCA検証(今後の対策など)

まちづくり協議会は、市民主体のまちづくり組織を形成することにより、自らが考えることにより地域の実情に応じた活動しやすい組織づくりを醸成する。平成28年度より、より一層の自主的な運営に繋げるため、いきいき地域づくり補助金の制度を見直した。そのことで、各地域で、独自に取り組む事業が増え、活動的な地域運営の促進に繋がっている。

地域住民が身近な課題解決に向けて、それぞれの地域の個性を活かして、住民主体の地域が連携したまちづくりを目指したい。

特別活動支援事業(例)
安心して暮らせる地域づくり事業・移住定住による地域づくり事業・地域資源の活用による特産品づくり

数値目標	健康寿命県内順位	
基準値 ※2014(H26)年度	22 位	
	平成27年度	平成28年度
目標値	1 位	1 位
実績値	21 位	25 位
目標に対する達成率		
評価	C	C



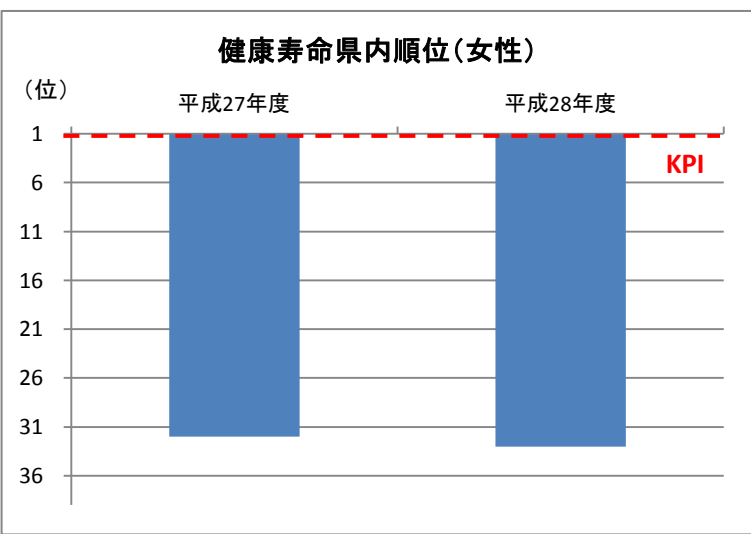
PDCA検証(今後の対策など)

健康寿命とは、日常的に介護を必要とせず、自立した生活ができる生存期間のことである。
健康寿命(平均自立期間)＝平均寿命－平均要介護期間(要介護2～5)
※宇陀市:「男性:82.24歳 女性:84.84歳」

健康寿命の向上に向けては、生活習慣病予防・食育環境・心の健康づくりなど、様々な要因があって向上していくものである。特に大事なものは検診の受診や運動の習慣化である。各がん検診の受診率は年々増加しているが、県内順位としては下がった。

平成28年度は、H25～27年平均の健康寿命が公表されたものであることから、成果がでてくるのが、少し遅れたものとなる。

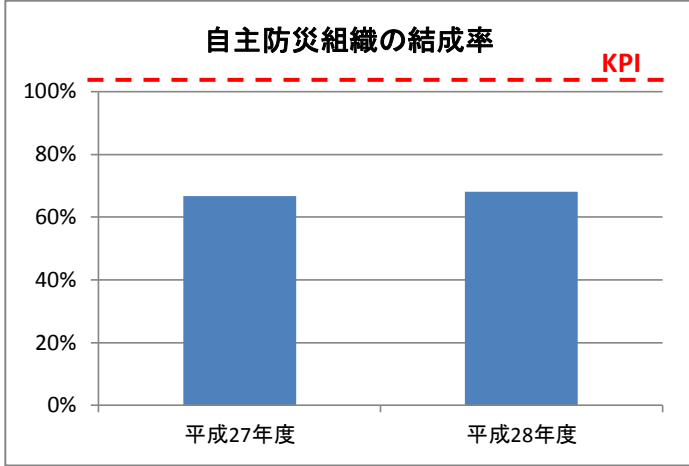
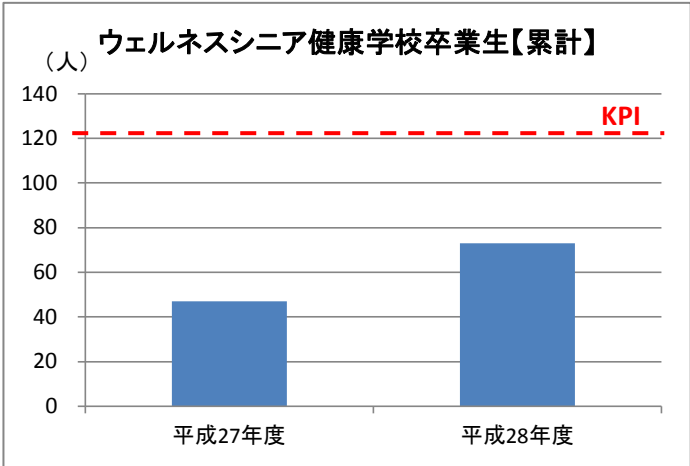
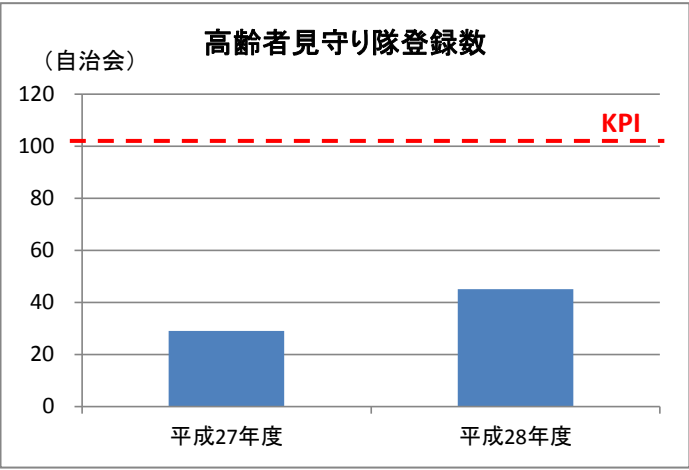
数値目標	健康寿命県内順位	
基準値 ※2014(H26)年度	28 位	
	平成27年度	平成28年度
目標値	1 位	1 位
実績値	32 位	33 位
目標に対する達成率		
評価	C	C



※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている

1	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅲ まち	政策1. 地域連携の強化	市民が主役の地域づくり・まちづくりによる地域連携の強化
事業	「活力ある地域づくりは、まち協から」「ウェルネスシニア健康学校」「高齢者見守り隊」「安心・安全なまちづくり事業」	

重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26) 年度
高齢者見守り隊登録数		13 自治会
	平成27年度	平成28年度
目標値	100 自治会	100 自治会
実績値	29 自治会	45 自治会
目標に対する達成率	29.0%	45.0%
評価	B	B



重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26) 年度
ウェルネスシニア健康学校卒業生【累計】		40 人
	平成27年度	平成28年度
目標値	120 人	120 人
実績値	47 人	73 人
目標に対する達成率	39.2%	60.8%
評価	B	B

■ PDCA検証(今後の対策など)

高齢者見守り隊については、まち協等の活躍により、自治会数の増加が図れている。高齢化の進展に伴い、単身世帯数も増加する中で、地域での高齢者等の見守り活動は有効な取組であり、引き続き自治会やまち協の総会、役員会に出向いて説明を行い、全市的な取組として実施できるよう事業の推進を行う。

ウェルネスシニア健康学校については、高齢者に学習の機会、運動の機会を提供し、学ぶことから仲間づくりに繋げている。今年度は事業を秋以降に開催予定で、今後は、新たな方の募集を募りたい。シニア学校卒業生が、学んだことを地域サロンの中で生かすリーダー的な役割を担ってもらうことから、少し尻込みしているような現況にある。

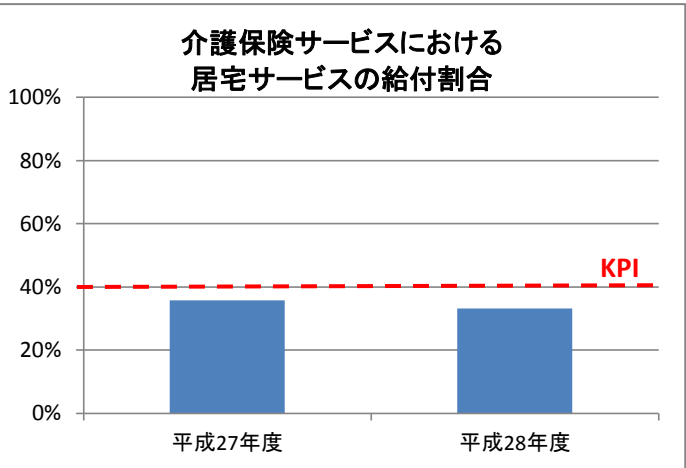
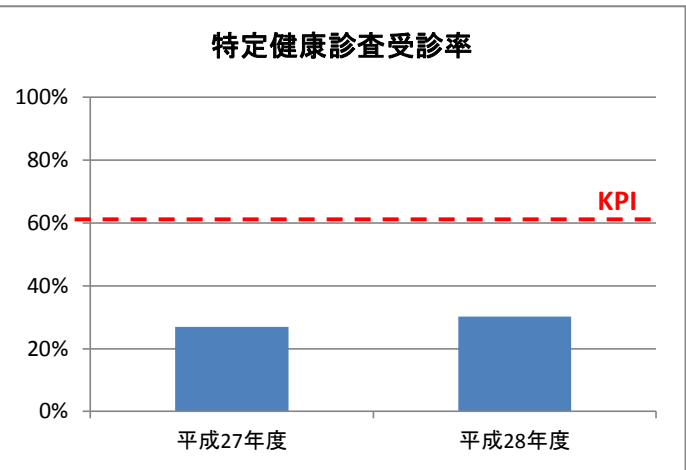
宇陀市内の世帯数に対して、自主防災組織の結成率として計上している。消防の再編を考える中で、自主防災組織の在り方も重要視されていることから、要避難者の迅速な対応などで、安心安全なまちづくりに寄与するため、啓発活動に努めていきたい。

重要業績評価指標(KPI)		基準値 ※2014(H26) 年度
自主防災組織の結成率		61.70%
	平成27年度	平成28年度
目標値	100.0%	100.0%
実績値	66.71%	68.0%
目標に対する達成率	66.7%	68.0%
評価	B	B

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている

2	総合戦略効果検証シート	
基本目標Ⅲ まち	政策2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現	健幸を目指したウェルネスシティの推進
事業	「ウェルネスシティ」うだ”推進事業」「宇陀市地域包括ケアシステム推進事業」	

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
特定健康診査受診率		24.7%	認知症に発症してから6ヶ月以内に相談や受診する割合		15.7%
	平成27年度	平成28年度		平成27年度	平成28年度
目標値	60.0%	60.0%	目標値		
実績値	26.9%	30.2%	実績値		
目標に対する達成率	44.8%	50.3%	目標に対する達成率		
評価	B	B	評価		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
介護保険サービスにおける居宅サービスの給付割合		35.3%	地域ぐるみで週1回以上運動を実施する箇所		32 ヶ所
	平成27年度	平成28年度		平成27年度	平成28年度
目標値	40.0%	40.0%	目標値		60 ヶ所
実績値	35.7%	33.1%	実績値		55 ヶ所
目標に対する達成率	89.3%	82.8%	目標に対する達成率		91.7%
評価	B	B	評価		B
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度	■PDCA検証(今後の対策など)		
医療介護あんしんセンター認知度		47.8%			
	平成27年度	平成28年度			
目標値	60.0%				
実績値	47.8%				
目標に対する達成率	79.7%				
評価	B				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度	特定健康診断については、国民健康保険加入者(40～74歳)が対象である。未受診者への電話やはがき通知や、検診進め隊によるPR、宇陀チャンネルでの特別番組、宇陀市立病院での節目の年の検診推奨等により、年々増加傾向にはある。地域によって、受診率に差があることから、未受診者への更なる周知徹底を図り、健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現に寄与していきたい。		
訪問診察認知度		67.0%			
	平成27年度	平成28年度			
目標値	70.0%				
実績値	67.0%				
目標に対する達成率	95.7%				
評価	B				

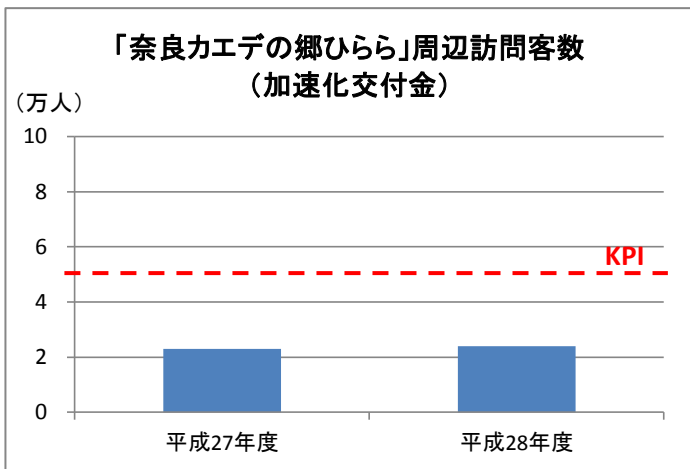
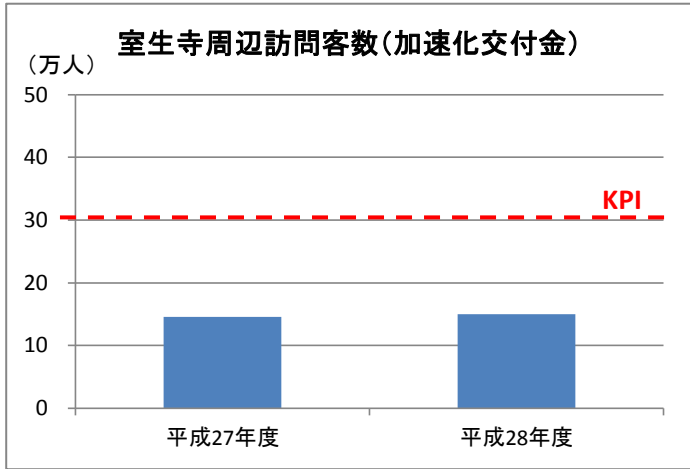
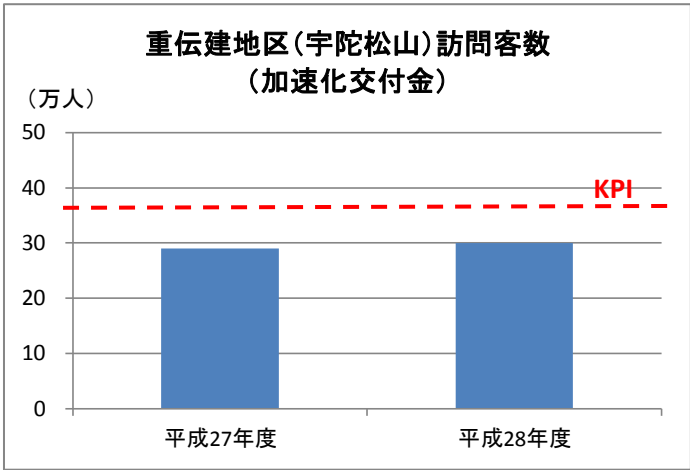
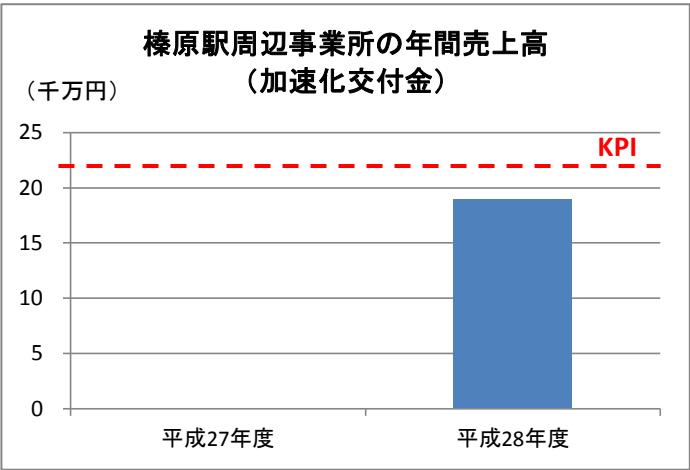


※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている

3	総合戦略効果検証シート		
基本目標Ⅲ まち	政策3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現	① 小さな拠点づくり	② 地域公共交通の整備
事業	「近鉄榛原駅周辺地区のまちづくり」「宇陀松山周辺地区のまちづくり」「うたの古市場地区周辺のまちづくり」「室生口大野駅周辺及び室生寺門前地区のまちづくり」「持続可能な地域公共交通ネットワーク形成事業」		

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
榛原駅周辺事業所の年間売上高 (加速化交付金)		約2.1億円
	平成27年度	平成28年度
目標値		26 千万円
実績値		19 千万円
目標に対する達成率		73.1%
評価		C
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
重伝建地区 (宇陀松山) 訪問客数 (加速化交付金)		28 万人/年
	平成27年度	平成28年度
目標値	35 万人	35 万人
実績値	29 万人	30 万人
目標に対する達成率	82.9%	85.7%
評価	B	B
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
室生寺周辺訪問客数 (加速化交付金)		19 万人/年
	平成27年度	平成28年度
目標値	30 万人	30 万人
実績値	14.6 万人	15 万人
目標に対する達成率	48.7%	50.0%
評価	C	C
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 ※2014 (H26) 年度
「奈良カエデの郷ひらら」周辺訪問客数 (加速化交付金)		2 万人/年
	平成27年度	平成28年度
目標値	5 万人	5 万人
実績値	2.3 万人	2.4 万人
目標に対する達成率	46.0%	48.0%
評価	B	B

※評価 A: 既達成、B: 順調、C: やや遅れている、D: 遅れている



■PDCA検証 (今後の対策など)

県と市のまちづくり包括協定が締結されたことで、平成28年度には、「榛原駅周辺地区のまちづくり・宇陀松山周辺地区のまちづくり・うたの古市場周辺地区のまちづくり・室生寺門前および室生口大野駅周辺地区のまちづくり」における基本構想について、地方創生加速化交付金 (一部のみ) を活用して策定した。平成29年度には、4月に基本協定を締結し、基本計画を策定することになる。

誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現を目指して、公共交通をはじめとする市民の方々の利便性の向上や市外の方々の訪問客数の増加を図っていく。